

接遇研修会のご案内

# 接遇力アップでクレーム予防

○日 時 4月20日(土) 15時～17時

○会 場 伊丹市立図書館ことば蔵 多目的ホール  
伊丹市宮ノ前 3-7-4 (TEL 072-783-2775)

○講 師 永野整形外科クリニック(奈良県香芝市)ヘルプデスク、  
(株)クリニックイノベーションサポート代表 **永野 光氏**

○参加費 1000円 ○定 員 90人(先着順)

※「医療安全管理対策研修会」の受講証を発行します

医療機関においては、個々の職員の対応によって医院への信頼やイメージが創られるため、患者さんとの接遇やコミュニケーション能力の向上が強く求められています。

永野整形外科クリニックヘルプデスク、(株)クリニックイノベーションサポートの永野光氏をお招きし、患者心理をふまえてその日から実行できる接遇のポイントや、クレームを防ぐテクニックなどについて、実技を交えお話いただきます。新人職員の方だけでなく、中堅、ベテランの方も日頃の業務を見直す機会として、ぜひご参加下さい。

●お問い合わせは、TEL：078-393-1805(有本・小川)まで

## 健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

Web siteでも  
ご覧いただけます



<4月のテーマ>

月曜日 白目が赤い—充血と出血—  
火曜日 手のしびれ～手根管症候群～  
水曜日 男性の膀胱炎  
木曜日 尿潜血陽性と言われたら  
金土日 治りにくい水ぶくれ—類天疱瘡—

<5月のテーマ>

月曜日 小児の溶連菌感染症  
火曜日 5月31日は、世界禁煙デー  
水曜日 夏に多い耳の病気  
木曜日 「心臓に雑音がある」と言われたら  
金土日 ノイローゼについて—精神疾患との違い—

\*都合により、テーマの一部を変更する場合があります。祝日は、前日のテーマを放送します。



### ☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。  
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当;有本まで

兵庫県保険医協会

# 北阪神支部 ニュース

2019年4月15日号 No.293

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部  
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

伊丹市・宝塚市議会議員選挙

## 会派アンケート 各市2会派から回答

協会北阪神支部は、4月21日投開票の市議会議員選挙(宝塚市・伊丹市)に向け、医療政策を問うアンケートを各会派に送付し、伊丹市議会の2会派、宝塚市議会の2会派より回答を得た。質問項目と回答を紹介する。

- 1、こどもの医療費助成を拡充し、中学3年生まで所得制限なく入院、外来ともに医療費窓口負担を無料にすることについて
  - 2、国民健康保険税軽減のために、国庫補助を増やすよう国に要望することについて
  - 3、各2次医療圏域・準圏域内で完結的な医療提供体制の整備を進めることについて
  - 4、県の地域医療構想について、急性期病床と慢性期病床の回復期病床への転換は、地域の医療ニーズを丁寧に調査・分析し、精緻に進めることについて
  - 5、医師の長時間労働に関して、医師確保のためにも、市立病院における医師の労働時間短縮のための取り組みの推進、未払い手当の精査と支給を行うことについて
  - 6、政策医療を提供している市立病院等の赤字を過度に問題視することなく、むしろ補助金を増額し、その経営を支えることについて
  - 7、10月の消費税の増税について
  - 8、社会保険診療にかかる消費税を課税・ゼロ税率とし、医療機関の控除対象外消費税負担を解消することについて
- 伊丹は上記と合わせ以下の質問を追加
- 9、市立伊丹病院あり方検討委員会が提言する近畿中央病院との統合について

これらの項目について、「賛成」「反対」「その他」で質問した。回答は次のページから掲載する。

(次のページに続く)

## (前のページから)

### 宝塚市(当着順)

#### 日本共産党宝塚市議会議員団

- 1 賛成 子どもの命と健康を守ることを社会全体で支えることが必要。
- 2 賛成 国保財政が厳しいのは国庫負担が減らされてきたことが原因。憲法の生存権に基づき国が責任をはたすべき。
- 3 賛成 市民生活を考えれば、一定の地域内で十分な医療を受けられることが重要。
- 4 賛成 医療費抑制を押しつけるのではなく、必要な医療を必要に応じて受けられることが重要。
- 5 賛成 人間らしい働き方を確立していくことが重要。
- 6 賛成 公立病院は、利益をあげることが目的ではなく、住民の命と健康を守ることが役割。不採算でも行わなければならないことがある。診療報酬引き上げなど制度をただすことこそ必要であり、現行制度では財政支援をせざるをえない。
- 7 反対 大企業、大資産家への優遇をやめること。ムダな軍事費や大型公共事業を見直せば、消費税増税は不要。
- 8 賛成 生存権を保障する保険診療に消費税はなじまない。そもそも医療に限らず消費税は廃止すべき。

#### ともに生きる市民の会

- 1 賛成 子育て世代の経済的負担軽減が少子化対策となるかは分からないが、子どもの健康の増進に必要と考える。
- 2 賛成 国保税は、低所得者に「医療を受けるな」と言っているようなもの(高すぎる)。
- 3 賛成
- 4 賛成
- 5 賛成 市立病院の医師の労働時間の調査ができていない。また、医師からもそのような声は聞いていないので調査する。
- 6 賛成 弱い立場の市民を切り捨てられないために必要。公立で赤字は当たり前。
- 7 反対 福祉、医療、教育費が無償としない限り。
- 8 (無回答)

### 伊丹市(当着順)

#### 日本共産党伊丹市議会議員団

- 1 賛成 子どもの貧困が大きな社会問題となっていること、また、各家庭で子育て・教育費負担が増大しています。よって安心して医療を受けられる制度は絶対に必要です。
- 2 賛成 伊丹市でも高すぎる国保税が問題となっています。実際、伊丹市では、夫婦と子ども一人のモデル世帯で、年間給与収入300万円の場合の保険税は364,200円にもなっています。にもかかわらず市当局は将来医療費が増えて会計が赤字になることを恐れ、税の引き下げに消極的です。よって、国が自治体に補助金を増やし、国保税を軽減すべきです。
- 3 賛成 「地域完結型医療」とは、病院の看取りを在宅にシフトする内容と理解しています。医療と介護を組み合わせる「地域包括ケアシステム」がうたわれていますが、現状では、医療と介護の連携や、在宅医療・看護師・介護士不足が大きな課題となっています。こうした課題克服に力をつくします。

(次のページに続く)

## (前のページから)

- 4 賛成 県の地域医療構想によると、2025年の阪神北医療圏域における病床数推計は、急性期と慢性期が過剰となり、逆に回復期が不足するとしています。しかし、保険医協会が指摘されている通り、現状の病床の大転換を強引に行えば、多くの地域で医療提供体制のバランスが崩れ、地域住民が必要とする医療を受けられなくなる恐れがあります。医療ニーズを丁寧に調査・分析すべきです。
- 5 賛成 国においてもようやく医師の働き方改革に関する検討が行われています。当直明けの勤務負担の緩和、勤務間インターバルや完全休日の設定、女性医師等に対する支援など労働時間短縮のための取組みは待ったなしだと考えます。
- 6 賛成 伊丹市は2017年度(決算)に市立伊丹病院に、地方公営企業法の繰り出し基準にもとづき約7億9千万円の補助金を出しています。市立伊丹病院は公的病院として救急医療、周産期医療、小児医療など不採算部門を担っています。国や市による経営を支える立場からの補助金の増額は不可欠です。
- 7 反対 2014年の消費税8%への引き上げの打撃から家計消費は回復していません。2人以上世帯の実質家計消費支出は増税前の2013年平均と比べて25万円も減っています(2018年平均)。家計消費は日本経済の6割を占める経済の土台です。痛手から回復していないのに大増税をかぶせれば、日本経済は破滅への道をつきすすむこととなります。
- 8 賛成 控除対象外消費税の負担は、社会保険診療報酬収入の2%を上回っていると承知しています(病院)。医療機関は長年にわたり多額の控除対象外消費税を負担しており、それが経営を圧迫する大きな原因になっています。市立伊丹病院も2017年度は3億3千万円余り(決算)の負担となっており、解消すべきです。
- 9 反対 ①二つの病院のベッド合計数約800床を500～600床に減らせば、入院しにくくなり、入院しても早期の退院を促されることになる。②二つの病院が一つになれば、身近な病院がなくなり、とくに南部地域から総合病院がなくなる可能性がある。③市民は、長期の入院に対応できる医療機関を求めているが、統合された病院に「回復期」の病床をつくることは考えられていない。

#### フォーラム伊丹

- 1 賛成
- 2 賛成
- 3 賛成
- 4 賛成
- 5 賛成
- 6 その他 内容や状況により一律に賛成とも反対とも判断が出来ない。
- 7 反対
- 8 賛成
- 9 その他 提言であり、具体的な内容は見えていない。今後市民の意見をしっかり伺い計画に反映していきたいと思う。

兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

\*生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください!